

金沢東高校の紹介に聞き入る生徒と保護者 = 金沢市観光会館



金沢東高校の平成十六年度入学生募集に向けた学校説明会は十一月二十九日、金沢市観光会館で開かれました。金沢市内を中心に中学三年生と保護者計約八十人が訪れ、教育方針に理解を深め、入学試験などの説明を聞きました。

青山克彌校長が、「生徒一人ひとりの可能性を見極め、個性を大切に育てたい」と話しました。運営寺祐二副校長が進学総合、進学特別、スポーツ・特技、美術文化の四コースについて特色を説明しました。

### 可能性を見極め育てる

東高校の学校説明会に親子80人

面接官の講師から真剣な表情で指導を受ける短大学生 = 4号館



## 緊張しました 模擬面接

短大1年 就職活動開始へ準備

学内外の講師が丁寧な指導

金沢学院短期大学就職委員会と学校法人金沢学院大学就職指導部は十二月九日、大掛かりな就職模擬面接を実施しました。一年生の九割以上にあたる百五十人が参加しました。いずれも緊張した面持ちの学生たちは、企業の人事担当者ら学内外の講師から丁寧な指導を受け、就職活動で重要なこととなる面接の心構えを学びました。

学生の就職に対する意識を高め、併せて就職機会を促進する狙いで催されました。油屋透金沢エクセルホテル東急総務支配人、米林浩司北國銀行人事課長代理、小坂公省メフオス金沢事業部課長、中田健治大和香林坊店人事部課長、森下光伸ネットヨタ石川総務担当、島崎外志夫本学学芸部長が面接官を務めました。学生たちは、五、六人のグループで入室し、志望動機や希望する職種、自分の長所などの質問に答えました。面接官は、好感を持たれる話し方や、自分をアピールする答えのポイントなどをアドバイスしました。

### 情報デザインの将来は

美術文化学部 公開講座でシンポジウム

金沢学院大学美術文化学部情報デザイン学科主催の



第一回情報デザインシンポジウムは十二月六日、講堂などを会場に開かれ学生、教員、企業の代表らが研究報告やパネル討論で、情報デザイン分野の将来像を探りました。

学生の研究報告「写真」では、本学美術文化学部四年の谷村圭介君が、「フラクタル図形を利用したゲームプログラムの提案」をテーマに二十分にわたって話し、学内外の学生、教員らの注目を集めました。

### 3講師が熱弁

経営情報学部特別講義

金沢学院大学経営情報学部の特別講義は十二月九日、十一月二十日、十月二十四日の三回行われ、富士通政策推進本部の堀越知一統括部長「写真上」が「IT活用の新しい波」、金沢エクセルホテル東急の油屋透総務支配人が「顧客満足度向上のために」、石川トヨタの笹島忠夫総務部長「写真



下りが「人と人 コミュニケーションがすべて」と題して、それぞれ熱弁を振るいました。

堀越氏は、時間と場所の制約を超え、いつでもどこでも、誰でも情報交換できるユビキタス情報社会について解説し、これからは一人一人の生活実感やアイデアが次の新しいサービスを生み出す時代である」と強調しました。

油屋氏「写真左」は、笑顔、あいさつ、接客態度、整理整頓、身だしなみなど、ホテルマンの行動基準を紹介し、社会人としての心構えを説きました。



### カラー・ビジュアル学外授業

短期大学の生活デザイン専攻カラー・ビジュアルコースの学生は十一月二十八日、初めて出品した第三十回石川県デザイン展の会場を訪れました。山岸政雄教授から、出品作について評価を受けるとともに、他の大学、短大、専門学校生の作品を見て回りました。

発行・入試広報部